

54 おおいた徴収カレッジ（マネジメント講座）

【合同研修】

目的	徴収業務で結果を出すためのマネジメントを学ぶとともに、心理的負担も大きい徴収現場において求められる管理職員としてのサポートのあり方等を習得する。		
内容	・県内団体におけるマネジメントについての実例発表や、先進団体職員による管理・監督者の役割についての講義等		
実施年月日	令和7年 7月 9日（水）	定員	30名（市町村職員20名 県職員10名）
対象者	（市町村） 係長等以上の職員（地方税法の滞納処分の例により強制徴収する徴収業務で結果を出すためのマネジメントが求められる職員） （県） 係長級以上の職員（地方税法の滞納処分の例により強制徴収する徴収業務で結果を出すためのマネジメントが求められる職員）		
実施場所	大分県自治人材育成センター		
推薦期限	令和7年5月30日（金）	《第5回》	経費内訳 内訳表1
指定ホテル	—	その他留意事項	—
研修講師	○県内団体におけるマネジメントの実例発表 【未定】 ○滞納整理における管理・監督者の役割について 【元横浜市財政局主税部 部長 鷲巣 研二 氏】 ○意見交換 【元横浜市財政局主税部 部長 鷲巣 研二 氏】		
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験に基づいた内容から具体的な事例を聞くことができ、大変参考になった。 ・常にチームの状況を把握し、現体制で最大のパフォーマンスを出そうと努力することの大切さを学んだ。 ・徴収業務は、大量反復業務であるため、進捗管理の重要性をしっかりと学ぶことが出来た。 ・経験豊富な講師の先生の講義は説得力があり、非常に解りやすかった。 		
備考			

時間割									
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	8:50	20 30	10 20						15
1日目	受付	オリエンテーション 県内団体におけるマネジメントの実例発表	休憩	滞納整理における管理・監督者の役割について（講義）	昼食	滞納整理における管理・監督者の役割について（講義）			閉講

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。